

12月1日(土)

於；日光コミュニティーセンター

東京新聞社会部記者 望月衣朔子さん 講演会

「記者が斬る！安倍政権の実像と腐敗」

以下は参加者の感想の一部です。

★記者には、これを明らかにするんだという明確な信念を持っていることが不可欠。菅官房長官の話をそのまま伝えるのでは、政府の公報にすぎない。望月さんの様に記者会見でしつこく食い下がる「うるさい」記者は一回までと遮られるそうだ。それでも頑張って2回までは許されるようになったそうだ。頑張れ！望月さん。(H)

★望月さん講演で一番笑えた箇所

望月記者に他記者から「(官房長官に)一杯、と誘われているのでは？」と聞かれ、無いと答えると「エーッ、一度も無い？あなた、相当嫌われているねえ」という返事。あまり嫌われたくない気持ちは分かるが、メディアの役割は権力の監視、チェックだ。(G)

★望月さんは、元気印のお姉さんという感じの方で、一人芝居の役者さんのようでした。ジャーナリストとしての自分の役割に忠実に果敢に立ち向かう姿は頼もしい限りです。しかしです。質問者から安倍さんの支持率がなぜ下らないのかと問われた時、それはその理由を聞きたかったのではないように思いました。数々の理不尽な対応にもかかわらず、それを支持し、あるいは許している主権者としての国民を問うものだったように私には思われます。(H)

★持ち前の熱演ですっかり取り込まれたのか、会場から「国政への登場はいつ頃」と質問が出る程に魅了されたと言って良い。他に会場からも同様な要望らしき意見が聞えていたが、今後も「メディアのエース」の一人としての活躍を期待したい。この様にちょっと目立つと、すぐに政治に誘いたくなる程に政界も人材不足を物語っているが、今こそ、メディアにも政権をしっかり監視する人材が必要な時期である。
・「国家権力は「やろうと思えば何でもできる」(青井未帆さん著書より)」(i)

長良九条の会だより

NO142

2018年

12月号

事務局 林

090-6769

-9809



会報について、ご意見
感想等をお寄せください
お待ちしております。
編集部

みんなの広場

先日ボランティア仲間のある待ち時間でのこと。

ある女性が「ちよっと最近ひどいよね。安倍さんのやり方、審議せずに強行採決してばかりだし、このままで行ったら戦争に進んでいくみたいじゃない？」
ホント私もそう思う、と共感すると仲間内で話が盛り上がり、その女性は、「なかなかこんな話できる所なくて、よかつた〜」と喜んでいました。

本当はこんな話声を大にして言ってみたいと思っている人は多いのかも。

日本では大きな声で持論を展開できる人Ⅱたいいてい男の人Ⅱが空気を作っているが、どんな場でも「私は違うと思います」と小さな声もあげていく小さな勇気を持つことがすべての始まりだと思います。

(H)

山田真さん講演会 (11-25、各務原市)

今回のチラシ「フクシマを見つめ続けた医師のお話し」には、2011年3月の東京電力福島第一原子力発電所事故で被災し、小学4年生の時に福島から秋田県へ避難した高校一年生の方の「みんなに伝えたい。震災は、まだ終わっていない」との文章を裏面に掲載している。その高校生の母親を今回の講演会に招待する企画で進めていたことが実行委員長の冒頭の挨拶で分かった。

しかし、このお母さんは来岐の航空券を購入する直前、岐阜への出発を思い止まったとの報告が伝えられたのには会場の参加者にはとてもショックだった。実はこのお母さんは岐阜の講演会に出ることによって、今まで受けてきた様々なプレッシャーがまたさらに強まることを避けたいとの判断だったようで、会場の涙を誘っていた。今回は高校生の文章(秋田魁新聞掲載記事)の涙ながらの朗読で始まった。

山田真さんが初めての福島の診察時は400名以上の診察相談があったが、2回目には10分の1程度に減ったのは「戒厳令」的な動きがあった様だ。診察に行くことでパッシングを受ける状況が続いていた。

山田真さんは大学院の時代から被害者を支援する活動を長い間続けておられますが(森永ミルクヒ素事件・水俣病・福島原発事故など)この活動を理解し、支援する方たちが増えてこないことを懸念しています。

この会のはじまりはもともと、関市の呼びかけ人、山田敏雄さんが「ヨウソザイを配布する医師」との新聞記事を読み、中学同級生の「マコ(真)チャンではないか?」と、岐阜県内での講演開催を呼びかけた。この企画をフォローする市民の方々が動いて呉れたことによって講演会が実現できた。

国や東電がこの事故も責任もなかったことにしてしまおうとする施策は許せません。私たちは何の支えも助けもできないけれど(やっておられる方も大勢ありますが)せめて聞くことで共有できたらと思います。今後の福島へのフォローを胸に、山田真さんからいただいた「ヨウソザイ」手にして散会した。

今後の予定

12月18日(火) 9の日行動 16時サンマート前 (予備日 21日)

12月19日(水) 総がかり行動 名鉄岐阜交差点 17時~17時45分

* 予告 「憲法カフェ開催」 2月初めから中旬の予定

内容 「憲法の学習 その他」



3000万署名

12月 15筆

累計 1,024筆

まだまだ続きます。今後ともよろしく
お願い致します。

カンパの報告

12月10日 現在

振込 14件 41,500円

現金 2件 8,000円

カンパ箱 2,200円

合計 51,700円

ありがとうございました。大切にに使わせていただきます。

つぶやき

自分の話は聞いてほしい。しかし人の話は聞きたくない。人の嫌なところはわかるが、自分のことはわからない。そんなことってありませんか。

話はガラリと変わります。長良9条の会の財政は潤っています。多くの方たちから託されたこのお金をおろそかにせず、どう使わせて頂かが、課題です。金額の過多に関わらず、その気持ちを、しかと受け取って、丁寧な活動に役立てていきたい。

私たちはどう変わるべきか。考え考え、アベさんに振り回されながらも、騙されないうよう、自分と違う人の話にも耳を傾けながら、やっぴいくしかないという心境の昨今であります。

街路樹の楓ふみしめ黙考す
変わらぬ自分変えられぬ自分

(平塚)